

# 2015年度経営プラン Q2フォロー

2015年11月4日  
古河電気工業株式会社

## 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

## 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

古河電気工業株式会社

## 1. 上半期総括と今後の取組み

## 2. 上半期業績概況

## 3. 下半期業績予想

## 4. 年間業績予想

## 参考資料

※ 表及びグラフ中においては、上半期はH1、下半期はH2と表記

# Intentionally Blank

---

# 1. 上半期総括と今後の取組み

代表取締役社長  
柴田 光義

## ■ 上半期総括

- グローバルでの通信インフラ関連や、スマートフォン関連事業の好調に加え、金属事業の着実な改善により、上半期は対前年・対公表ともに増益を達成

## ■ 今後の取組み

- 「収益性の向上」を最優先とし、注力事業の強化と低収益事業の改善徹底、グローバルでの競争力の向上を推進

(単位：億円)

<上半期>	14年度実績	15年度公表	15年度実績	前年比		公表比	
				前年比	公表比		
売上高	4,149	4,400	4,282	+133	△118		
営業利益	62	65	91	+29	+26		

<通期>	14年度実績	15年度公表	15年度		
			H1実績	H2予想	通期予想
売上高	8,678	9,100	4,282	4,618	8,900
営業利益	179	230	91	139	230

## 2. 上半期業績概況

取締役 財務・調達本部長  
荻原 弘之

# 要約P&L

(単位：億円)

	14H1	15H1 前回予想	15H1 実績	前同比 増減	前予比 増減
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	4,149	4,400	4,282	133	△ 118
(率)				3.2%	-2.7%
営業利益	62	65	91	29	26
(率)				46.5%	40.6%
持分法投資損益	10	-	5	△ 5	-
為替損益	△ 2	-	△ 6	△ 4	-
経常利益	72	55	79	8	24
(率)				11.1%	44.5%
特別損益	△ 34	△ 4	△ 16	18	△ 12
法人税等	17	-	33	16	-
非支配株主に帰属する当期純利益	9	-	11	1	-
親会社株主に帰属する当期純利益	12	10	20	8	10
(率)				69.8%	96.4%

# 要約B/S他

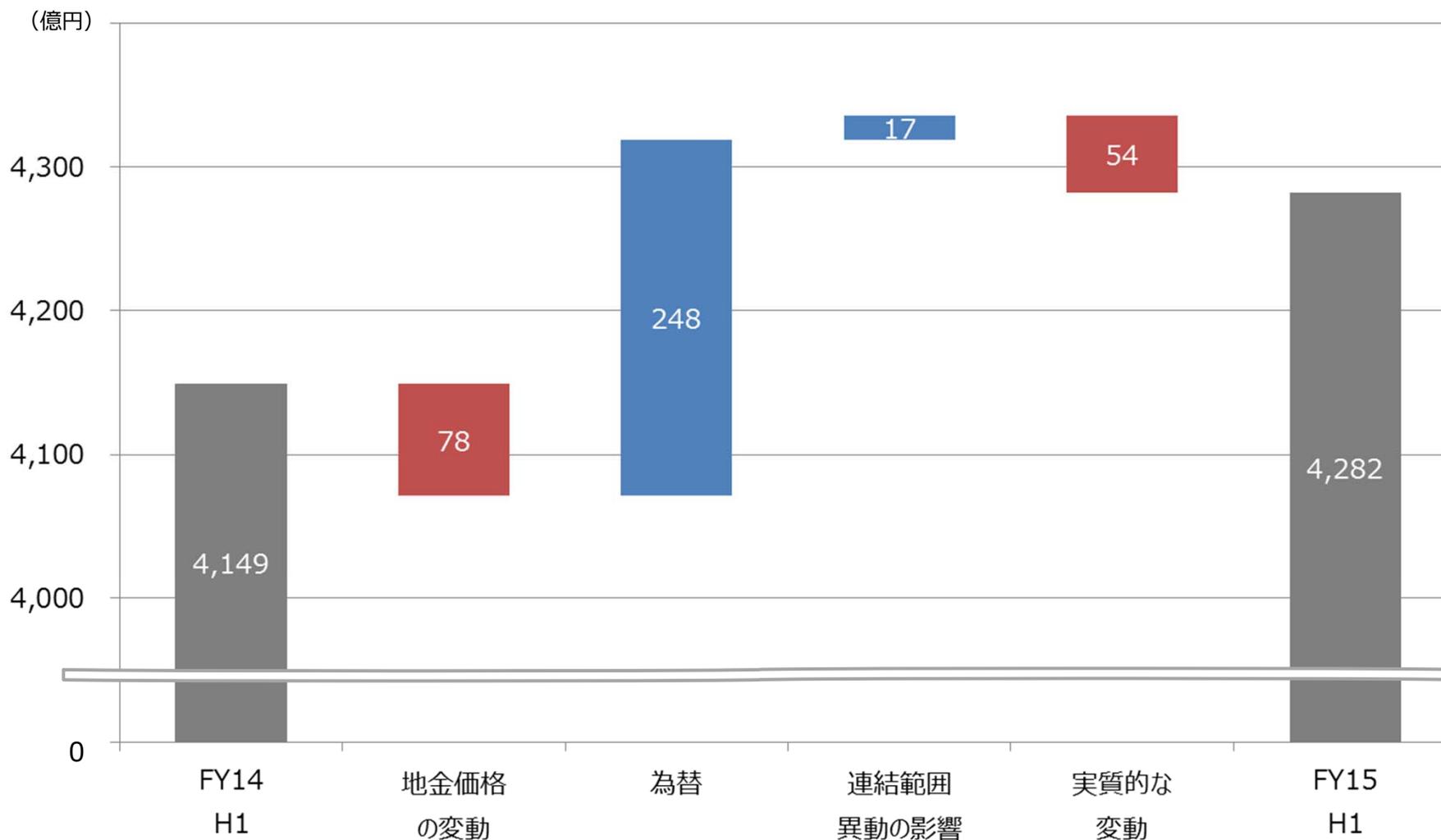
(単位：億円)

	14Q2末	14Q4末	15Q1末	15Q2末	増減
	a	b	c	d	d-b
総資産	7,248	7,341	7,331	7,079	△ 262
有利子負債	2,943	2,745	2,929	2,818	72
自己資本比率	24.7%	26.0%	25.7%	25.7%	-0.3%
D/Eレシオ	1.64	1.44	1.55	1.55	0.11
総資産回転率 (年換算売上高／総資産)	1.14	1.18	1.17	1.21	0.03
ROA (年換算経常利益／総資産)	2.0%	2.5%	1.9%	2.2%	-0.3%
ROE	-	4.0%	-	-	-

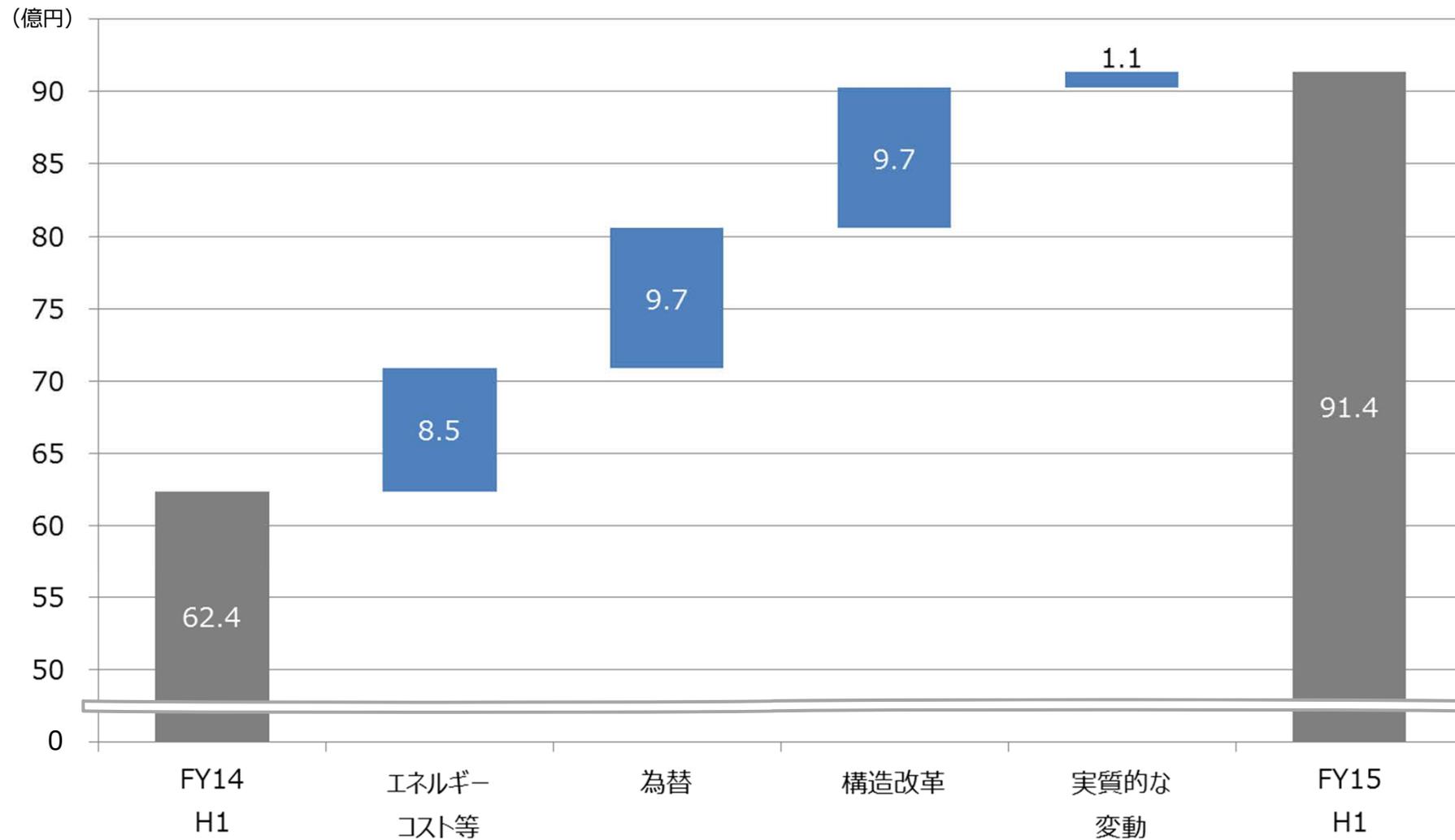
# Intentionally Blank

---

# 売上高増減要因（前年同期比）



# 営業利益増減要因（前年同期比）



# セグメント別売上高及び営業利益

(単位：億円)

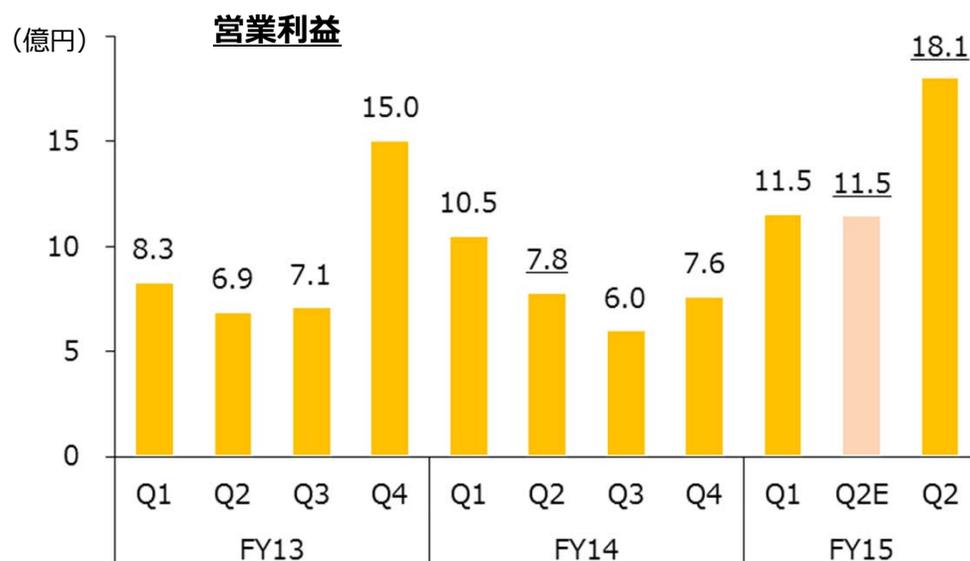
上段：売上高 下段：営業利益	FY15 Q1実績	前同比 増減	FY15 Q2実績	前同比 増減	FY15 H1実績	前同比 増減	前予比 増減	FY15 予想
	a	-	b	-	c=a+b	-	-	d
情報通信	387	10	388	15	775	25	▲ 25	1,600
光ファイバ・ケーブル	318	29	316	28	634	56	▲ 31	1,250
フォトニクス・ネットワーク	69	▲ 18	73	▲ 13	142	▲ 31	7	350
エネルギー・産業機材	696	▲ 16	698	▲ 6	1,394	▲ 22	▲ 66	2,900
電装・エレクトロニクス	795	87	789	52	1,584	138	▲ 36	3,300
金属	321	14	317	▲ 25	639	▲ 12	9	1,300
サービス・開発等	129	8	135	0	264	8	▲ 11	550
連結消去	▲ 188	▲ 4	▲ 186	▲ 0	▲ 374	▲ 5	11	▲ 750
<b>売上高</b>	<b>2,140</b>	<b>98</b>	<b>2,141</b>	<b>35</b>	<b>4,282</b>	<b>133</b>	<b>▲ 118</b>	<b>8,900</b>
情報通信	10	▲ 4	20	8	30	5	8	65
光ファイバ・ケーブル	12	1	18	10	30	11	7	50
フォトニクス・ネットワーク	▲ 1	▲ 5	2	▲ 2	0	▲ 7	1	15
エネルギー・産業機材	8	3	20	10	28	13	9	55
電装・エレクトロニクス	22	3	21	▲ 4	43	▲ 2	3	125
金属	▲ 8	▲ 2	▲ 1	14	▲ 9	13	6	▲ 15
サービス・開発等	0	2	0	0	0	2	0	0
連結消去	▲ 0	▲ 0	▲ 0	▲ 1	▲ 1	▲ 1	0	0
<b>営業利益</b>	<b>32</b>	<b>1</b>	<b>59</b>	<b>28</b>	<b>91</b>	<b>29</b>	<b>26</b>	<b>230</b>

# セグメント別概況 1 - ①光ファイバ・ケーブル



前同比 : 14Q2⇒15Q2 +10.3億円

- Q1に引き続き、北米市場の需要好調でOFS好調
- 輸出向けファイバの好調継続、国内ケーブルの収益も改善
- ブラジルFISAは国外で売上増、レアル安影響により円換算では減益



予想比 : 予想⇒実績 +6.6億円

- グローバルなファイバ需要と、欧米ケーブル市況好調が寄与

# セグメント別概況 1 - ② フォトニクス・ネットワーク FURUKAWA ELECTRIC

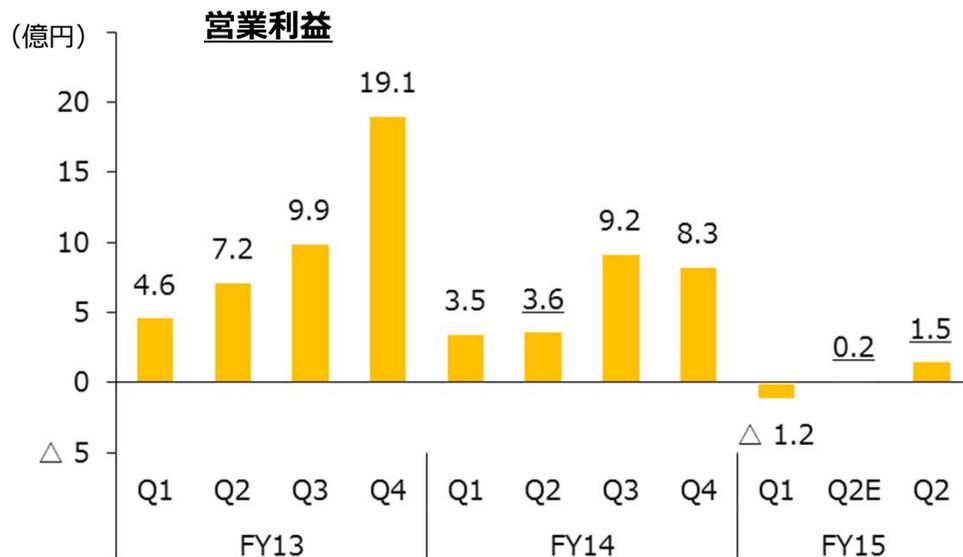


前同比 : 14Q2 ⇒ 15Q2  $\Delta$  2.1億円

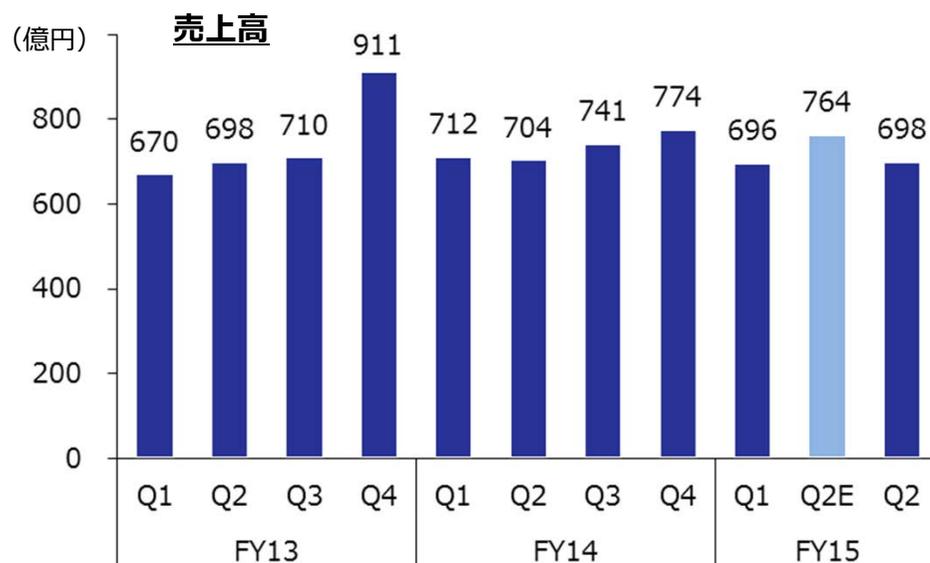
- タイにおける携帯電話関連工事の需要がほぼ終息
- 国内のCATV、融着機関連が振わず
- 好調なデジタルコヒーレント関連商品は、増産により売上伸長

予想比 : 予想 ⇒ 実績 +1.3億円

- デジタルコヒーレント関連の好調継続

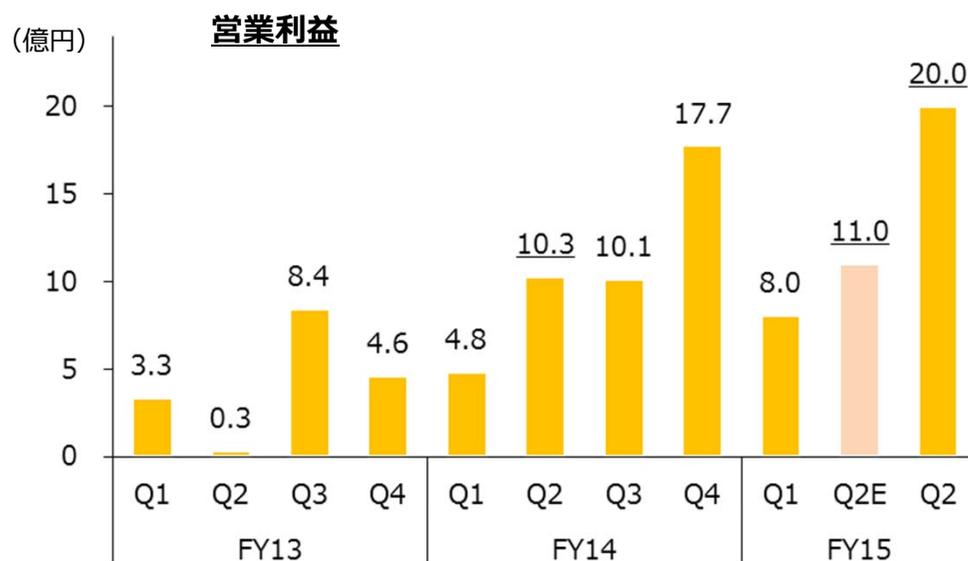


# セグメント別概況 2 - エネルギー・産業機材



前同比：14Q2⇒15Q2 +9.7億円

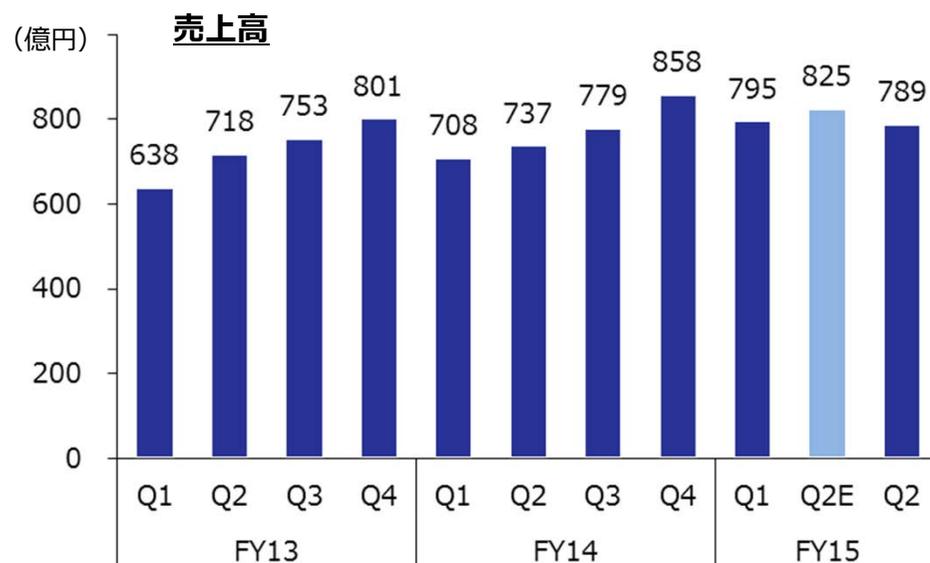
- 半導体製造用テープがスマートフォン需要増継続により売上増
- 欧州フォーム製品は増収増益
- 機器用電線等の需要増が寄与
- 高圧電力ケーブルは引き続き低調



予想比：予想⇒実績 +9.0億円

- 半導体製造用テープの好調継続
- エネルギーも改善基調

# セグメント別概況 3 - 電装・エレクトロニクス



前同比：14Q2⇒15Q2  $\Delta$ 4.4億円

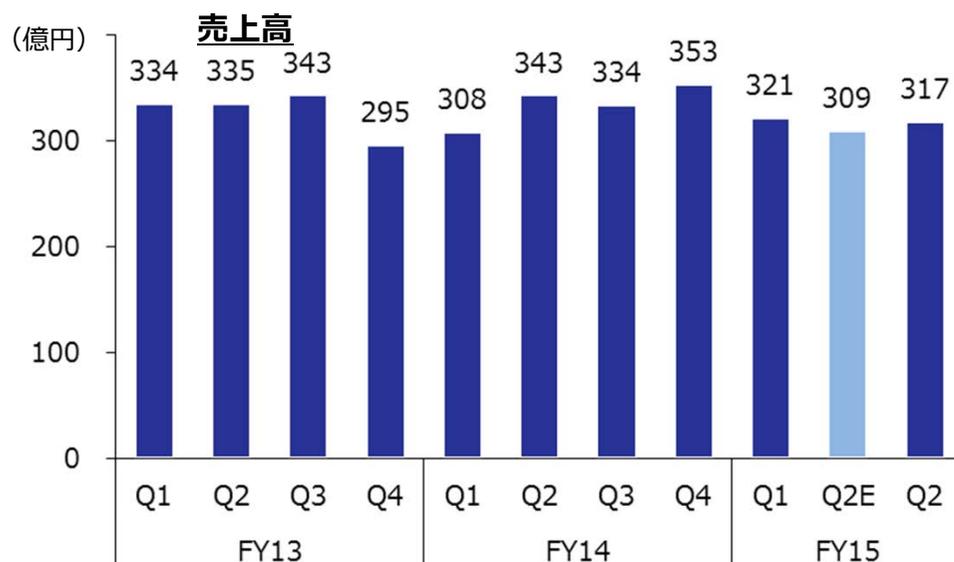
- 自動車部品は、主に円安進行による輸入コストアップにより減益
- 電池は、国内新工場稼働により自動車用電池が伸長
- データセンター向けのメモリーディスク材は好調継続



予想比：予想⇒実績 +3.0億円

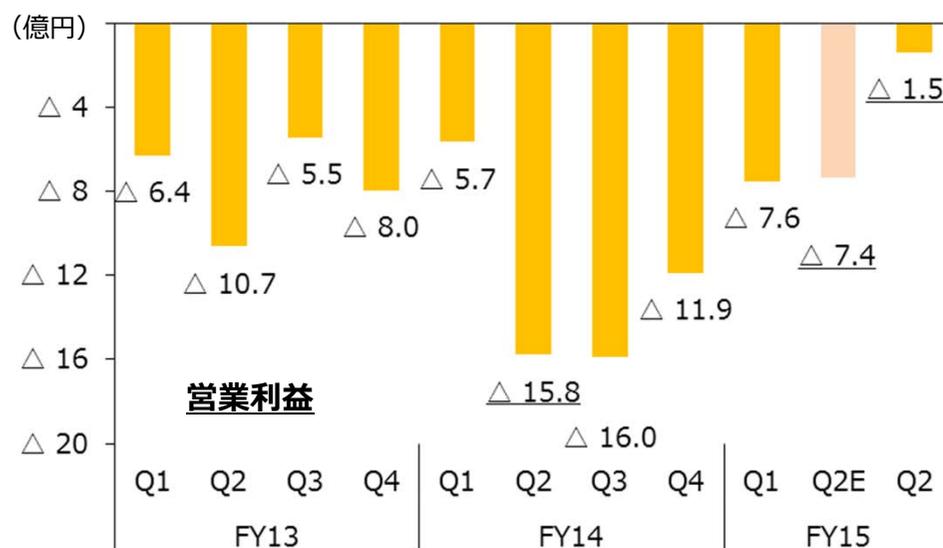
- メモリーディスク材などエレキ向け好調
- 自動車部品も経費削減等で予想達成

# セグメント別概況 4-金属



前同比 : 14Q2⇒15Q2 +14.4億円

- 銅条は1月の一貫生産再開から順調に生産数量を増やし、回復継続
- 銅箔は車載電池用は需要低迷や顧客在庫調整等により厳しいものの、民生電池用を中心とする売上増や生産性向上等により増益



予想比 : 予想⇒実績 +6.0億円

- 銅条は市況は厳しいなか、既存顧客向けが順調に回復
- 銅箔は商品ミックスの改善等により上振れ
- 銅管はタイ拠点の収益が改善

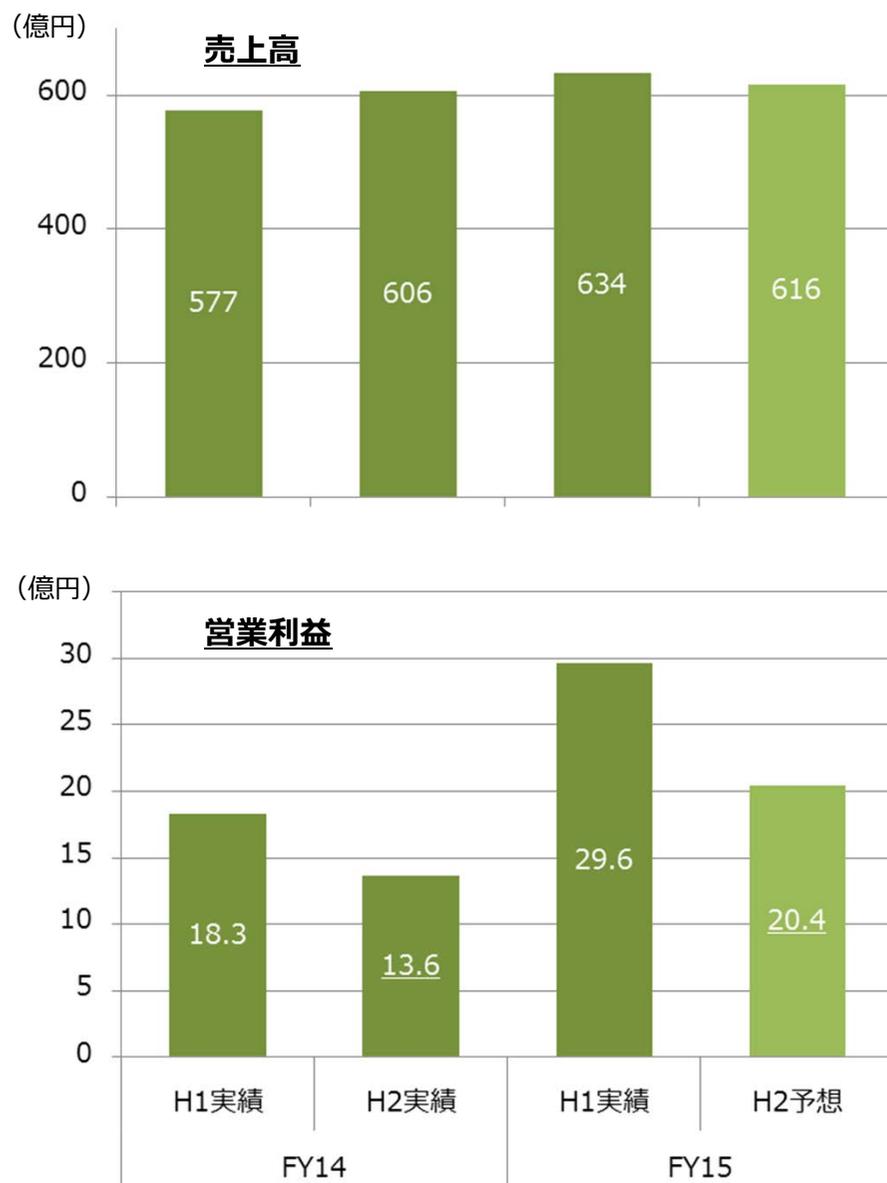
# 3. 下半期業績予想

# 要約P&L

(単位：億円)

	FY14 H1	FY14 H2	FY15 H1	FY15H2 今回予想	前同比 増減
	a	b	c	d	d-b
売上高	4,149	4,530	4,282	4,618	89
(率)					2.0%
営業利益	62	116	91	139	22
(率)					19.1%
持分法投資損益	10	9	5	-	-
為替損益	△ 2	2	△ 6	-	-
経常利益	72	114	79	151	36
(率)					31.6%
特別損益	△ 34	10	△ 16	△ 16	△ 25
法人税等	17	50	33	-	-
非支配株主に帰属する当期純利益	9	12	11	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	12	62	20	80	18
(率)					29.6%

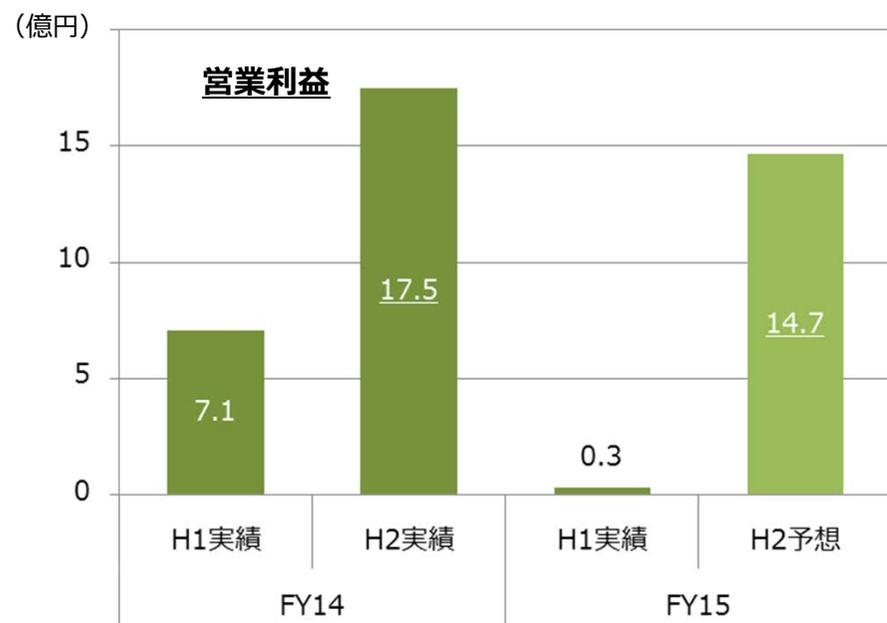
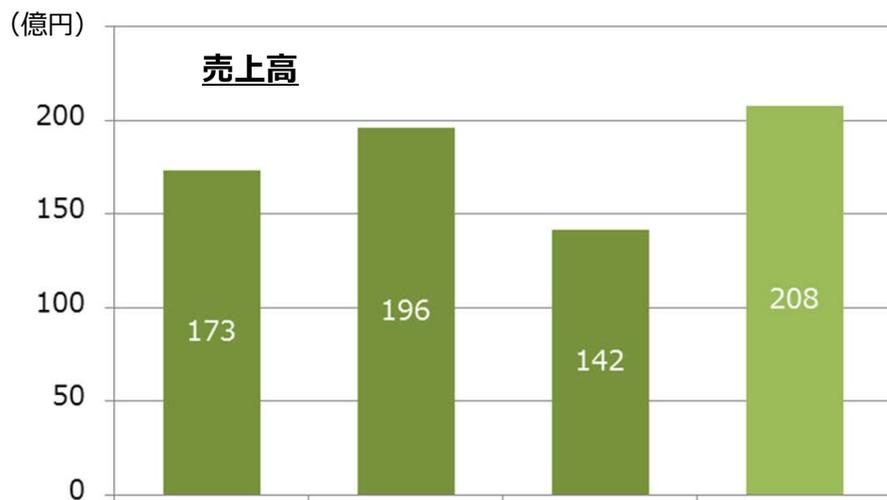
# セグメント別予想 1 - ①光ファイバ・ケーブル



前同比 : 14H2⇒15H2 +6.8億円

- 輸出向けファイバ売上増と、国内光ケーブルの収益改善が寄与
- OFSの北米市場は需要好調継続
- FISAは国外で売上増も、レアル安による為替影響で減益

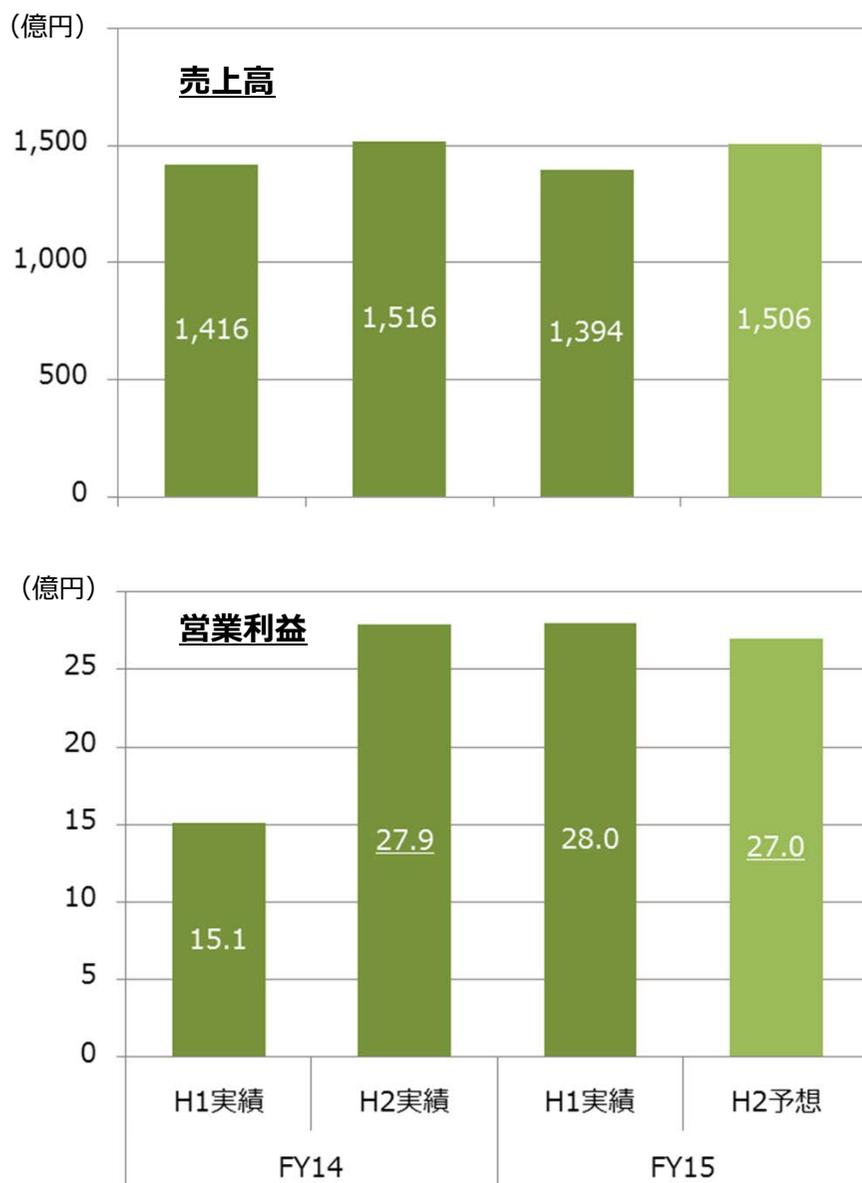
# セグメント別予想 1 - ② フォトニクス・ネットワーク **FURUKAWA ELECTRIC**



前同比 : 14H2⇒15H2  $\Delta$ 2.8億円

- タイにおける携帯電話関連工事需要終息が影響
- ブロードバンド事業関連商品の売上増
- デジタルコヒーレント関連商品は引き続き好調

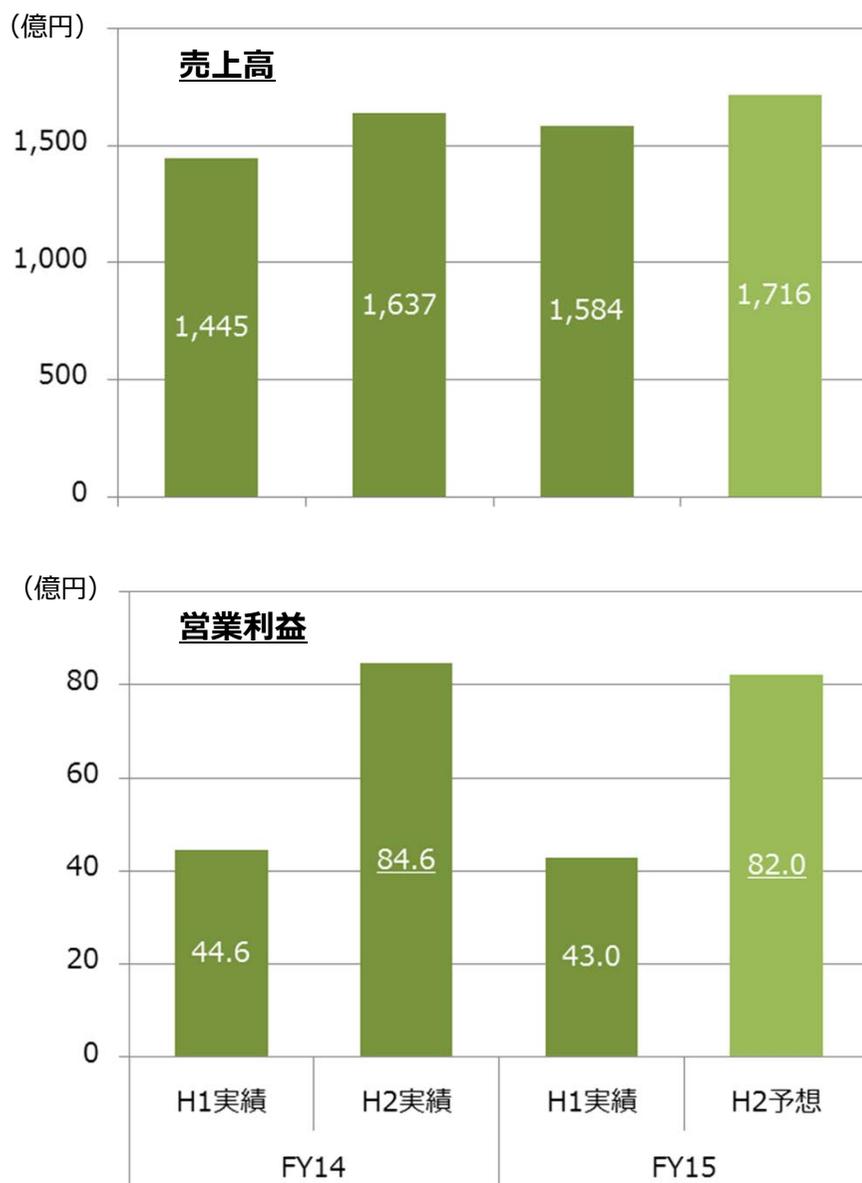
# セグメント別予想 2 - エネルギー・産業機材



前同比 : 14H2⇒15H2  $\Delta$ 0.9億円

- 高圧電力ケーブルは中国向けがやや改善するものの、国内向けの低調により減益
- 機器用電線等や、電力会社向け送変電部品需要は好調
- 半導体製造用テープは好調継続

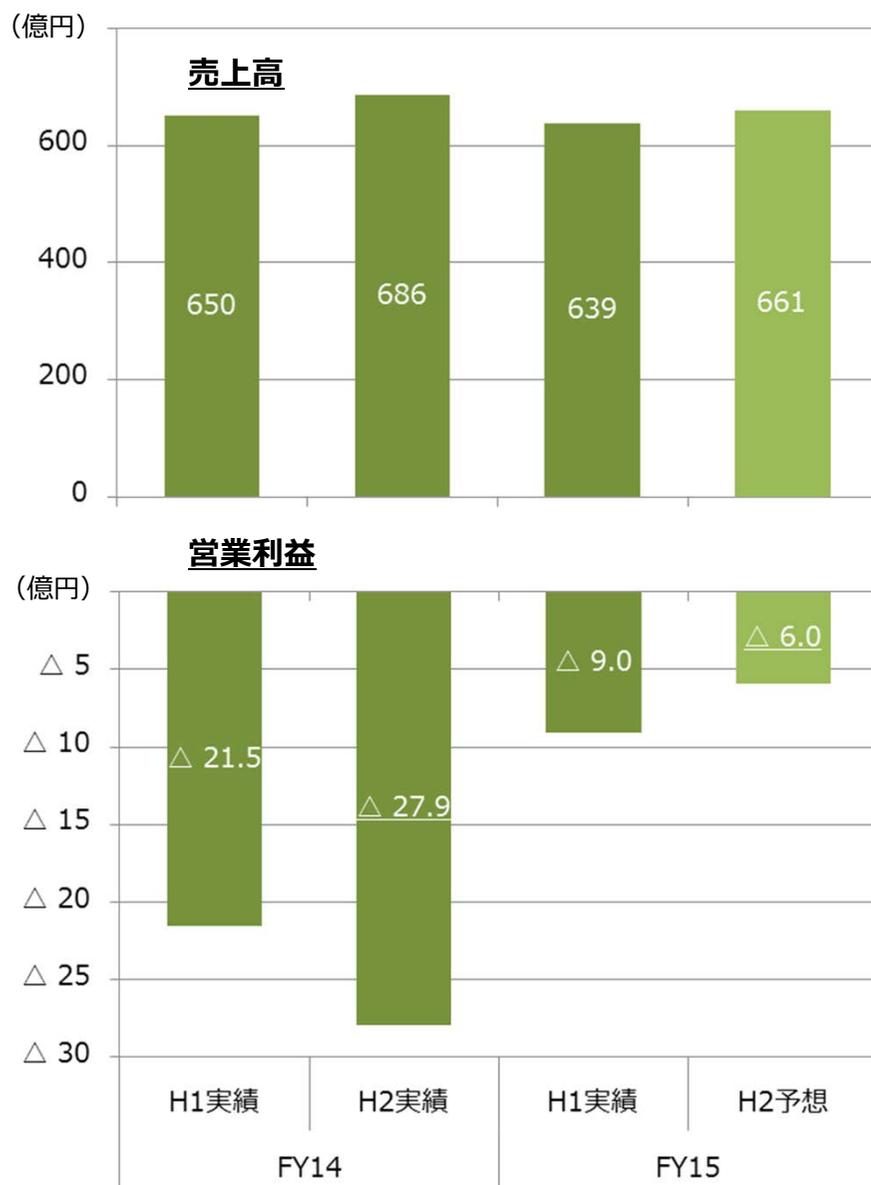
# セグメント別予想 3 - 電装・エレクトロニクス



前同比 : 14H2⇒15H2  $\Delta$ 2.6億円

- 自動車部品は、北米向け製品での一時的なコスト増により減益
- 電池は、国内新工場稼働により自動車用電池が伸長
- サーマル・電子部品が、サーバー向けに売上増

# セグメント別予想 4-金属



前同比 : 14H2⇒15H2 +21.9億円

- 銅条は引き続き順調に生産数量が増加  
(Q 4 黒字化予想)
- 銅箔は付加価値商品の構成比を上げるこ  
とで改善の見込み

# Intentionally Blank

---

# 4. 年間業績予想

# 要約P&L

(単位：億円)

	2014	2015 前回予想	2015 今回予想	前期比 増減	前予比 増減
	a	b	c	c-a	c-b
売上高 (率)	8,678	9,100	8,900	222 2.6%	△ 200 -2.2%
営業利益 (率)	179	230	230	51 28.7%	0 0.0%
持分法投資損益	19	-	-	-	-
為替損益	△ 1	-	-	-	-
経常利益 (率)	186	230	230	44 23.7%	0 0.0%
特別損益	△ 24	△ 32	△ 32	△ 8	0
法人税等	67	-	-	-	-
非支配株主に帰属する当期純利益	21	-	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益 (率)	74	100	100	26 36.0%	0 0.0%

# セグメント別売上高及び営業利益予想

(単位：億円)

上段：売上高 下段：営業利益	FY14 実績	FY15 前回予想	FY15 今回予想	前期比 増減	前予比 増減	15H1 実績	15H2 予想	H1/H2 増減
	a	b	c	c-a	c-b	d	e	e-d
情報通信	1,552	1,550	1,600	48	50	775	825	49
光ファイバ・ケーブル	1,183	1,200	1,250	67	50	634	616	▲ 18
フォトニクス・ネットワーク	369	350	350	▲ 19	0	142	208	67
エネルギー・産業機材	2,932	3,060	2,900	▲ 32	▲ 160	1,394	1,506	111
電装・エレクトロニクス	3,082	3,270	3,300	218	30	1,584	1,716	132
金属	1,337	1,440	1,300	▲ 37	▲ 140	639	661	23
サービス・開発等	535	540	550	15	10	264	286	22
連結消去	▲ 760	▲ 760	▲ 750	10	10	▲ 374	▲ 376	▲ 1
<b>売上高</b>	<b>8,678</b>	<b>9,100</b>	<b>8,900</b>	<b>222</b>	<b>▲ 200</b>	<b>4,282</b>	<b>4,618</b>	<b>337</b>
情報通信	57	60	65	8	5	30	35	5
光ファイバ・ケーブル	32	45	50	18	5	30	20	▲ 9
フォトニクス・ネットワーク	25	15	15	▲ 10	0	0	15	14
エネルギー・産業機材	43	47	55	12	8	28	27	▲ 1
電装・エレクトロニクス	129	140	125	▲ 4	▲ 15	43	82	39
金属	▲ 49	▲ 20	▲ 15	34	5	▲ 9	▲ 6	3
サービス・開発等	▲ 1	3	0	1	▲ 3	0	▲ 0	▲ 1
連結消去	1	0	0	▲ 1	0	▲ 1	1	2
<b>営業利益</b>	<b>179</b>	<b>230</b>	<b>230</b>	<b>51</b>	<b>0</b>	<b>91</b>	<b>139</b>	<b>47</b>

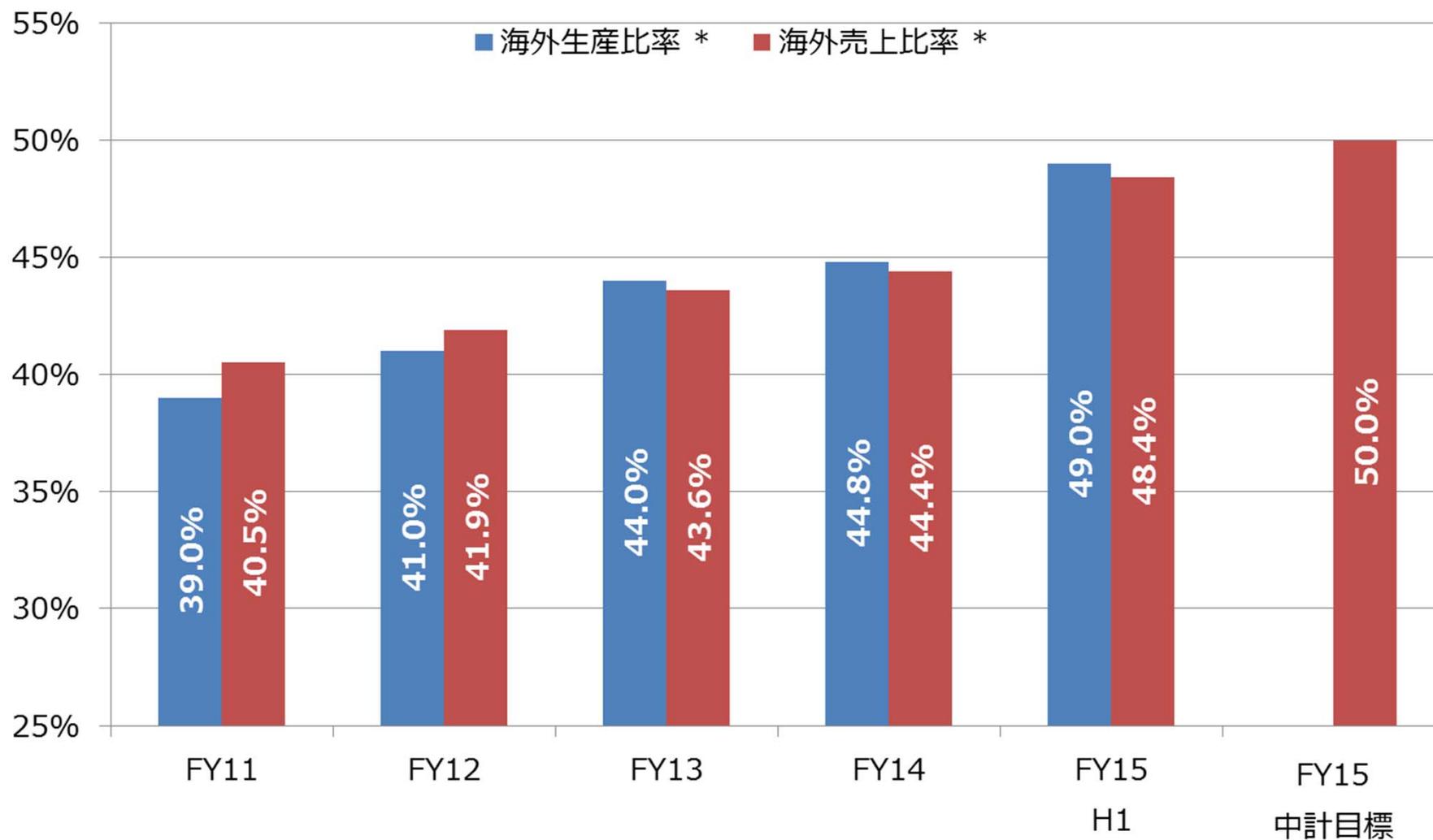
# Intentionally Blank

---

# 参考資料

# 生産及び売上の海外比率

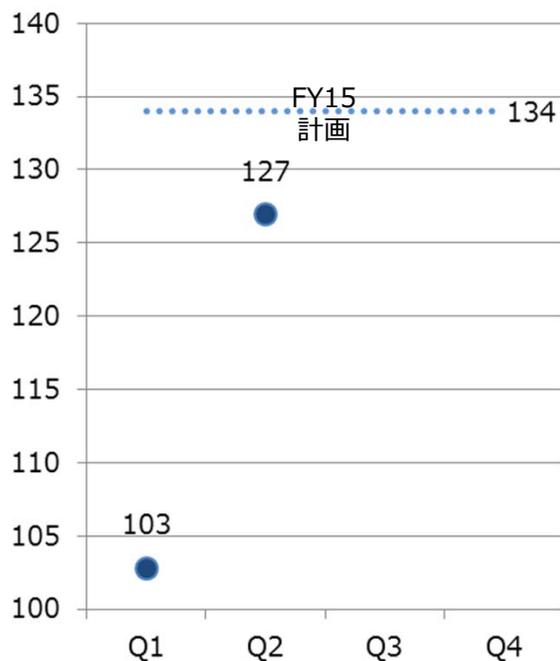
## ■ 北米の光ファイバ・ケーブル事業等の伸長や円安により上昇



# 戦略製品と売上数量トレンド

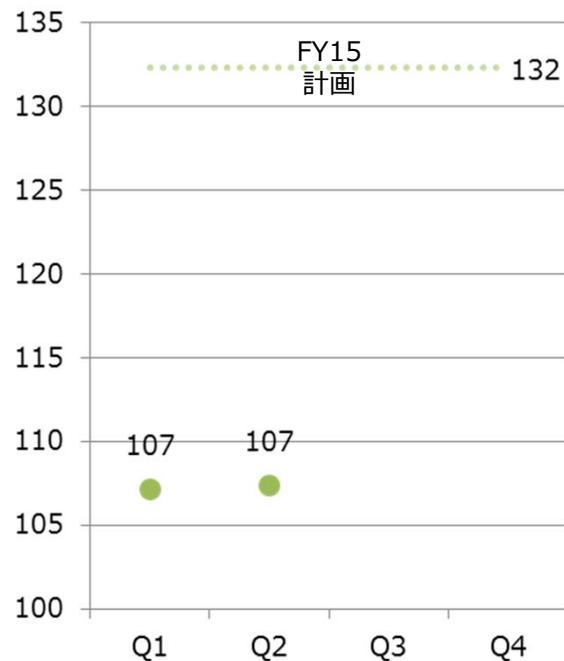
## ITLA/FBT

デジタルコヒーレント通信用集積型信号光源



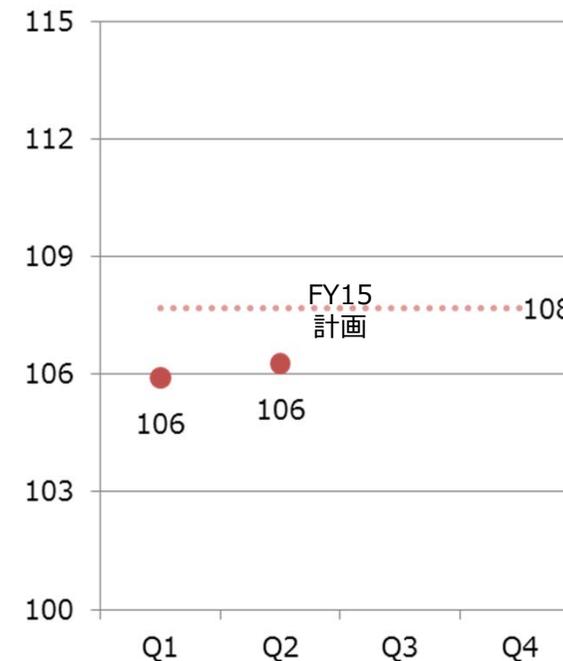
## BSS

車載バッテリー状態検知センサー



## SRC

車載エアバッグ用コネクタ



(注：各製品ともFY14実績を100とする指数)

ご清聴ありがとうございました。

*Bound to*  *Innovate*